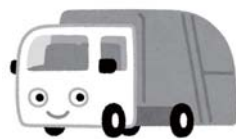


年末年始のごみ収集・持込



◆エコ・リレーセンターごじょう 年末年始の業務日

- ▼12月27日(日)、28日(月)
指定袋:8時30分~16時
計量:9時~11時50分、13時~16時
 - ▼12月29日(火)、30日(水)
指定袋・計量:9時~16時
- ※12月29日と30日は、ごみによって持込場所と時間が違います。詳しくは下記参照。
- ▼1月6日(水)~
指定袋:8時30分~16時
計量:9時~11時50分、13時~16時

◆カン・小型金属類、リサイクル類 その他の燃えないごみは、 1月6日(水)から 通常収集を開始します。

◆燃えるごみの年末年始収集

- ▼毎週月・木 収集地区:
12月28日(月)、1月4日(月)
- ▼毎週火・金 収集地区:
12月29日(火)、1月5日(火)

◆古紙・ビンの年始収集

野原	1月4日(月)分を 12月29日(火) に繰り上げて収集します。
なつみ台	1月5日(火)分を 12月30日(水) に繰り上げて収集します。
阪合部	
賀名生	
田園	1月15日(金)から開始します。

※上記を除く地区は、**1月6日(水)**から収集します。

その他の収集日程など詳しくは、ホームページで確認するか、エコ・リレーセンターごじょうに問い合わせてください。



市ホームページ

12月29日、30日はごみの持込場所と時間が異なります。

計量ごみは、エコ・リレーセンターごじょう、指定袋のごみは、5万人の森公園へ。

時間：9時～16時（時間厳守でお願いします）

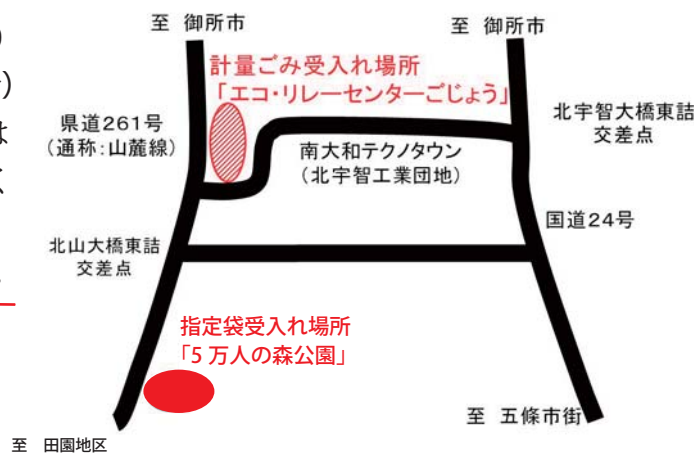
12月は、大掃除などで出たごみや資源物が大量に持ち込まれます。特に27日(日)の日曜開所日と29日(火)、30日(水)は混雑が予想されるので、できるかぎり**25日(金)まで**にごみを持ってきてください。なお、29日、30日は**指定袋と計量ごみの持込場所が違います**ので注意してください。

※計量ごみの持ち込みは、**事前申請が必要**です。エコ・リレーセンターに事前に連絡してください。

時 12月29日(火)、30日(水) 9時～16時

申 問 エコ・リレーセンターごじょう

☎ 24-4111



■主な財政指標

指標名	平成29年度	平成30年度	令和元年度
財政力指数(3年平均)	0.351	0.356	0.357
経常収支比率(%)	99.0	103.2	99.5
一般会計実質収支(百万円)	123	302	199

■財政健全化判断比率及び資金不足比率 (単位: %)

指標名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	黒字	黒字	黒字	13.23	20.00
連結実質赤字比率	黒字	黒字	黒字	18.23	30.00
実質公債費比率	(3年平均)	14.3	15.3	25.00	35.00
		(単年度)	15.9		
将来負担比率	119.6	123.1	123.2	350.00	
資金不足比率	黒字	黒字	黒字	20.00(経営健全化基準)	

■市債残高の状況

会計名	平成29年度	平成30年度	令和元年度
一般会計	265億 1,855万円	262億 4,968万円	277億 844万円
特別会計合計	62億 6,949万円	57億 490万円	1,486万円
水道事業会計	29億 2,582万円	29億 9,336万円	31億 8,076万円
下水道事業会計	—	—	51億 9,820万円
合計	357億 1,386万円	349億 4,794万円	361億 226万円

《用語説明》

【**財政力指数**】行政サービスに必要な財源をどの程度自力で調達できるかを表した指標です。1以上になると国から地方交付税が交付されなくなります。

【**経常収支比率**】税金や普通交付税など毎年見込まれる収入に対して、毎年必要な経費の割合。低いほど財政にゆとりがあります。

【**実質収支**】決算の歳入と歳出の差引額から、翌年度に繰り越す事業の財源を差し引いた実質的な差額で、黒字・赤字の判断基準となります。

【**市債**】多くの財源が必要な事業等のために、市が、政府・地方公共団体金融機構・銀行などから調達する長期の借入金。

【**基金**】特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て、または定額の資金を運用するために設けられる資金または財産。

■主な基金の状況

基金名	平成29年度	平成30年度	令和元年度
財政調整基金	29億 4,740万円	14億 9,902万円	13億 4,295万円
減債基金	2億 9,686万円	9億 3,196万円	8億 206万円
特定目的基金	24億 2,721万円	25億 6,176万円	25億 94万円
合計	56億 7,147万円	49億 9,274万円	46億 4,595万円

(特定目的基金：地域振興基金など8基金)

【**実質赤字比率**】一般会計等の実質赤字額が標準財政規模に占める割合。

【**連結実質赤字比率**】全ての会計を連結した実質赤字額が標準財政規模に占める割合。

【**実質公債費比率**】実質的な公債費(借入金返済のための経費)が標準財政規模に占める割合。

【**将来負担比率**】将来負担すべき債務が標準財政規模に占める割合。

【**標準財政規模**】地方公共団体が自由に使える財源の標準的な規模。

【**資金不足比率**】公営企業の資金不足額が事業規模に占める割合。(資金不足比率の基準値の名称は「経営健全化基準」といいます。)

■令和元年度会計別決算状況

会計名	収入済額	支出済額	実質収支	
一般会計	217億5,980万円	215億4,004万円	1億9,940万円	
特別会計	国民健康保険	39億7,069万円	39億4,675万円	2,394万円
	墓地事業	203万円	203万円	—
	介護保険	39億3,352万円	38億7,771万円	5,581万円
	大塔診療所	3,752万円	3,752万円	—
	農業集落排水事業	289万円	289万円	—
	後期高齢者医療	4億6,146万円	4億6,110万円	36万円
特別会計合計	84億 811万円	83億2,801万円	8,010万円	

五條市の会計は、福祉・教育など市民生活の中心となる一般会計のほか、国民健康保険事業のように特定の収入をもって事業(仕事)を行う6つの特別会計と、地方公営企業法に基づく2つの企業会計(水道事業・下水道事業)があります。決算の状況は左のとおりです。

■公営企業会計決算

水道事業会計	収益的収支	収入	11億5,438万円	下水道事業会計	収益的収支	収入	8億 966万円
		支出	10億6,077万円			支出	7億8,609万円
資本的収支	収入	10億3,856万円	収入	5億3,470万円			
	支出	11億9,414万円	支出	8億4,970万円			

※数値は、積み上げ額と合計が一致しない場合があります。

問 財政課 (内線 2 1 2)